

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日
福

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所
コード番号 7441 URL <http://kk-misumi.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼 (氏名) 末吉 茂樹 (TEL) 099-260-2213
経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	44,270	2.6	696	48.6	934	50.8	568	102.5
24年3月期第3四半期	43,150	8.3	468	△28.7	619	△18.1	280	△2.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 588百万円(168.5%) 24年3月期第3四半期 219百万円(△27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	93.65	—
24年3月期第3四半期	46.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	34,767	13,015	36.9
24年3月期	35,387	12,612	35.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,837百万円 24年3月期 12,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—		
25年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,720	3.2	1,266	55.9	1,374	32.1	771	54.2	127.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・再修正表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	6,100,503株	24年3月期	6,100,503株
25年3月期3Q	30,669株	24年3月期	30,669株
25年3月期3Q	6,069,834株	24年3月期3Q	6,069,834株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復がみられましたが、欧州債務問題や米国の財政問題、中国の経済成長鈍化等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「CHANGE & DASH～新しい価値観で、速やかに行動する～」のスローガンのもと、従業員の意識改革を促し、販売力の強化及び事業部門の整理・再構築による事業全体のレベルアップを図り、競争力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は442億70百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、営業費用が前年同四半期に比べ減少したことから、経常利益は9億34百万円（前年同四半期比50.8%増）、四半期純利益は5億68百万円（前年同四半期比102.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、ENEOSカードの利用促進やTカードのポイントイベントを実施するとともに、外食部門、カルチャー部門との合同企画によるキャンペーンを実施するなど、燃料油の増販に努めました。

ガス部門においては、積極的な営業活動により、新規顧客の開拓や販売の増加に努めました。

以上の結果、売上高は345億64百万円（前年同四半期比4.3%増）となり、営業利益は7億37百万円（前年同四半期比39.1%増）を計上致しました。

2 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、KFC店舗のイメージ向上を目的に2店舗を改装するとともに、クラッシュヤーズ（飲む冷たいスナック）を5店舗に導入致しました。また、5月にバイキングスタイルの巳八レム鹿児島店をオープンし、売上獲得に努めました。

ミネラルウォーター部門においては、宅配の新規契約の獲得と販売数量の確保に努めました。

以上の結果、売上高は42億4百万円（前年同四半期比4.2%減）となり、営業利益は2億74百万円（前年同四半期比30.9%減）を計上致しました。

3 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、カルチャー店舗のイメージと利便性の向上を目的に1店舗を改装するとともに、提案商品の訴求力アップのためにシニア層向けの売場を拡充するなど、幅広い世代の集客に努めました。また、オブシアミスミ（複合商業施設）において、駐車場やエスカレーターを増設し、設備面の見直しを図るとともに、プレミアム付き館内共通商品券を販売するなど、賑わいある施設づくりに努めました。

以上の結果、売上高は55億1百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、営業利益は1億80百万円（前年同四半期比34.0%増）を計上致しました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億19百万円減少し、347億67百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億22百万円減少し、217億51百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億3百万円増加し、130億15百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は、平成24年5月10日発表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,694,753	4,126,157
受取手形及び売掛金	5,852,245	6,358,113
有価証券	3,719	3,719
商品及び製品	2,765,193	2,765,961
その他	813,933	754,805
貸倒引当金	△368,493	△375,091
流動資産合計	12,761,351	13,633,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,328,518	4,231,080
土地	11,791,332	12,375,795
その他（純額）	997,299	883,541
有形固定資産合計	17,117,151	17,490,417
無形固定資産	433,396	353,623
投資その他の資産		
その他	5,418,167	3,516,335
貸倒引当金	△342,835	△226,133
投資その他の資産合計	5,075,331	3,290,201
固定資産合計	22,625,879	21,134,242
資産合計	35,387,231	34,767,908
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,861,319	2,303,148
短期借入金	9,550,000	8,040,000
1年内返済予定の長期借入金	1,776,682	1,704,182
未払法人税等	366,562	107,512
賞与引当金	308,952	204,742
その他	2,065,962	2,400,060
流動負債合計	15,929,478	14,759,647
固定負債		
長期借入金	5,043,059	5,187,423
退職給付引当金	150,536	149,966
役員退職慰労引当金	730,700	739,200
その他	921,129	915,759
固定負債合計	6,845,425	6,992,349
負債合計	22,774,903	21,751,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	9,075,896	9,462,268
自己株式	△43,403	△43,403
株主資本合計	12,369,734	12,756,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,212	81,230
その他の包括利益累計額合計	73,212	81,230
少数株主持分	169,379	178,574
純資産合計	12,612,327	13,015,911
負債純資産合計	35,387,231	34,767,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	43,150,672	44,270,858
売上原価	34,202,310	35,337,461
売上総利益	8,948,361	8,933,397
販売費及び一般管理費	8,479,631	8,236,914
営業利益	468,730	696,482
営業外収益		
受取利息	15,347	10,533
受取配当金	43,574	34,319
受取賃貸料	110,481	112,716
貸倒引当金戻入額	—	106,797
その他	186,374	161,302
営業外収益合計	355,778	425,668
営業外費用		
支払利息	137,228	122,235
賃貸費用	51,624	50,365
その他	15,822	14,662
営業外費用合計	204,676	187,263
経常利益	619,832	934,887
特別利益		
固定資産売却益	4,579	2,060
受取保険金	600	—
収用補償金	523	—
特別利益合計	5,703	2,060
特別損失		
固定資産売却損	—	4
固定資産除却損	22,866	—
災害による損失	397	—
投資有価証券売却損	325	—
特別損失合計	23,588	4
税金等調整前四半期純利益	601,947	936,943
法人税、住民税及び事業税	243,346	292,882
法人税等調整額	66,169	63,153
法人税等合計	309,515	356,036
少数株主損益調整前四半期純利益	292,431	580,907
少数株主利益	11,683	12,440
四半期純利益	280,748	568,466

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292,431	580,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,098	8,017
その他の包括利益合計	△73,098	8,017
四半期包括利益	219,333	588,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,650	576,484
少数株主に係る四半期包括利益	11,683	12,440

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	フード& ビバレッジ	ライフ スタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,131,285	4,391,406	5,627,980	43,150,672	—	43,150,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,048	17,619	168,185	236,853	△236,853	—
計	33,182,333	4,409,025	5,796,166	43,387,526	△236,853	43,150,672
セグメント利益	530,237	397,398	134,801	1,062,436	△593,706	468,730

(注) 1 セグメント利益の調整額△593,706千円には、セグメント間取引消去7,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△601,362千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	フード& ビバレッジ	ライフ スタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,564,439	4,204,886	5,501,533	44,270,858	—	44,270,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,615	19,682	130,679	189,977	△189,977	—
計	34,604,054	4,224,568	5,632,212	44,460,836	△189,977	44,270,858
セグメント利益	737,685	274,688	180,675	1,193,050	△496,567	696,482

(注) 1 セグメント利益の調整額△496,567千円には、セグメント間取引消去9,452千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△506,020千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。